

平成28年度 山形県公立大学法人
第1回 経営審議会
第1回 教育研究審議会(米沢栄養大学)
第1回 教育研究審議会(米沢女子短期大学)
議事録

1 日時 平成28年4月14日(木) 10:00～11:00

2 場所 D号館 2階会議室

3 出席者

<経営審議会>

(出席) ○学内委員：鈴木理事長、井上理事、高橋理事、馬場理事、菌部理事

○学外委員：種村理事、菅原理事、宮原委員

(欠席) ○学内委員：大和田理事

○学外委員：黒田委員

※委員10名中8名出席、定款第16条の規定により会議成立

<教育研究審議会(米沢栄養大学)>

(出席) ○学内委員：鈴木学長、高橋理事、鈴木委員

○学外委員：菅原理事、吉池委員、川崎委員

(欠席) ○学内委員：大和田理事、山田委員

※委員8名中6名出席、定款第20条の規定により会議成立

<教育研究審議会(米沢女子短期大学)>

(出席) ○学内委員：鈴木学長、馬場理事、菌部理事、鈴木委員、伊豆田委員

○学外委員：菅原理事、飯塚委員、荒井委員

※委員10名中10名出席、定款第20条の規定により会議成立

<監事>

(出席) 五十嵐監事

(欠席) 山上監事

<事務局職員>

(出席) 佐藤次長、四柳課長、佐藤課長、樋口専門員、飯澤主査、金谷主事

4 理事長(兼)学長あいさつ

新たに米沢女子短期大学の教育研究審議会委員に就任した荒井 克弘 氏の紹介後、両大学の概要について説明がなされた。主な内容は以下のとおり。

○異なる両大学の特性を尊重した大学運営を展開

○大学要覧 組織図を活用して山形県公立大学法人の全体像を説明

○栄養大については、開学当初から「県民の健康で豊かな暮らしの実現に寄与する」という理念のもと、専門職である管理栄養士を養成するとともに、地域連携・貢献に向けた教育、研究、運営を展開(完成年度後の大学院設置に向け、来年3月に国への認可申請を予定)

○山形大学との連携による「COC+」、「大学の世界展開力推進事業」(栄養大の学生2名が中南米に派遣)、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」に参画

○米短大については、全国的に公立短期大学が苦戦している中であって、そのあり方を検討中

○平成28年度で全国に公立短期大学は16校(今後、2校が4年生大学に移行する予定で

あり、将来的には14校が残っていく見込み)

- 山形県、東北地方が中心ではあるが全国から学生が集まってきており、今後も一定の入学生確保を期待
- 卒業生のうち3割程度が4年生大学に編入、就職状況も例年どおり好調
- 高校生が減少している現状を踏まえ、平成27年度より将来構想を検討開始(定員、学科再編など具体的なビジョンの提示に向けた検討開始)

5 委員紹介

出席委員及び事務局職員から、それぞれ自己紹介がなされた。

6 議事録署名員の指名及び審議会の運営説明

鈴木理事長から、

- 菅原理事：経営審議会
 - 川崎委員：教育研究審議会委員(栄養大)
 - 鈴木委員：教育研究審議会委員(米短大)
- の3名が議事録署名員に指名され、了承された。
また、審議会の趣旨及びその運営等について、井上理事から説明がなされた。

7 報告

(1) 理事長・学長の職務代理者について

事務局から報告資料1により報告がなされた。

(2) 平成27年度 卒業者の進路状況について

事務局から報告資料2により報告がなされた。

(3) 平成28年度 入学者について

事務局から報告資料3により報告がなされた。

(4) 山形県公立大学法人 平成28年度 年度計画について

事務局から報告資料4により報告がなされた。

(5) 米短大の将来のあり方に係るアンケート調査の実施について

事務局から報告資料5により報告がなされた。

種村委員から、アンケート調査結果の取りまとめ方法について質問があり、事務局から5月中旬まで集計作業を終え、分析結果を次回開催の合同審議会においてご報告する旨の回答がなされた。

また、宮原委員から、集計作業にあたっては、サンプル数が多いことから、クロス分析を行い、そこから見えてくる回答者の背景などを重要視して欲しいとの発言がなされ、鈴木理事長から、参考としていく旨の回答がなされた。

(6) 地域連携・研究推進センターの活動報告書について

事務局から配付資料「地域連携・研究推進センター活動報告書」により報告がなされた。

吉池委員から、共同研究を行った外部機関や連携先となった民間企業との共同作業内容、活用した資金などが明確になるといいのではないかという質問があり、高橋委員から大学の資金が活用されており、民間からの資金提供はない旨の回答がなされた。

また、宮原委員から、食材の栄養価が下がってきている中、しっかりとした農産物を生産している地域の生産者との連携により、食材の持つ意味や力を、学生に教え、社会に反映して欲しいという発言があり、高橋委員から、これまで地域連携・研究推進センターに寄せられた50件程度の相談には食材に関する利用方法等も含まれてお

り、対応可能な範囲でお受けし、また、生産者との連携事業についても可能なものは行っている旨の回答がなされた。

さらに、鈴木理事長から、栄養大では当初より食材に重点を置いた教育を展開しており、卒業研究も開始され、学生も幅広く興味を持って取り組んでいる旨の回答がなされた。

8 協 議

(1) 山形県立米沢女子短期大学名誉教授の称号の授与について

事務局から協議資料1により説明がなされ、案のとおり承認された。

(2) 理事長選考会議の委員の選出について

事務局から協議資料2により説明がなされた後、高橋委員より種村委員、井上委員、大和田委員、吉池委員、菅原委員が米沢栄養大学の理事長選考会議委員に推薦され、全会一致で理事長選考会議委員に選出された。

引き続き、菌部委員より種村委員、井上委員、馬場委員、荒井委員が米沢女子短期大学の理事長選考会議委員に推薦され、全会一致で理事長選考会議委員に選出された。

(3) 次回以降の審議会の開催日程について

事務局から協議資料3により説明のうえ、次回は6月23日(木)15時より開催する旨報告し、案のとおり承認された。

併せて、年5回の開催を予定している旨説明するとともに、「栄養大への大学院設置」及び「米短大の将来のあり方」に関する検討についても、この中で協議等を予定している旨報告がなされ、案のとおり承認された。

9 その他

なし

議長 理事長(兼)学長

議事録署名員

議事録署名員

議事録署名員